



プログラム

平成11年9月5日(日)

日本養護教諭教育学会 第7回学術集会(岡山集会)

会場:岡山国際交流センター・国際会議場

メインテーマ: 養護教諭とカウンセリング

9:30~10:00 受付

10:00~10:10 開会行事

10:10~12:00 シンポジウム

テーマ「養護教諭のおこなう健康相談」

座長 石原 昌江(岡山大学)

シボジスト

小原 充子(岡山県立総社高等学校養護教諭)

相談活動における養護教諭としての能力

西部 美志(大阪府スクールカウンセラー)

養護教諭とスクールカウンセラーの連携

剣持 雅久(倉敷市立新田中学校校長)

管理職として、いかに養護教諭を支援するか

森田 光子(女子栄養大学教授)

健康相談教育の試みとその課題

12:00~13:00 昼食・休憩

13:00~14:00 特別講演

テーマ「学校カウンセリングと養護教諭」

講師 小林 重雄(吉備国際大学教授)

座長 門田美千代(吉備国際大学)

14:00~16:30 研究発表

:学会共同研究班 (会場:国際会議場) A・C・E群

Iグループ (A群)

「相談に関わる養護教諭の力量形成」代表 森田 光子

IIグループ (C群)

「養護教諭の研究能力に関する研究」代表 天野 敦子

14:00～16:30 研究発表

: 一般演題 12題 (会場: 会議室1) B・D・F群

(B群)

- \* 養護教諭の身分・職務等に関する動向 (第1報)  
佐藤紀久栄 (東京都立小平高等学校)
- \* 「カウンセリングを学ぶ会」19年のまとめから卒後研修を考える  
中島玲子 (東京都立南野高等学校嘱託)
- \* 養護実習中に体験したスキンシップ (タッチ) の実態  
中村朋子 (茨城大学)

(D群)

- \* 問題解決過程における連携の構造  
— 一般教諭との連携に関する養護教諭の経験の分析 —  
広田理絵 (茨城大学大学院) 中村朋子 (茨城大学)
- \* 「連携」に関する養護教諭教育について  
— 実践事例の活動を中心に —  
森泉清香 (茨城大学大学院) 大谷尚子 (茨城大学)
- \* カリキュラムにおける養護実習の位置づけに関する研究  
— 学生の自己評価への影響 —  
砂村京子 (茨城大学大学院) 大谷尚子 (茨城大学)  
吉原久仁子 (茨城大学大学院)

(E群) (会場: 国際会議場)

- \* 養護教諭の職務についての調査研究  
岡本陽子 (三重県立神戸高等学校) ほか
- \* 「養護教諭活動計画」作成過程における養護教諭の力量向上  
湧川美幸 (安城学園高等学校) ほか
- \* 教育学部養護教諭養成の養護学系授業・臨床実習に対する卒業生の学習  
ニーズ  
— フォーカス・グループ及び質問紙の2つの方法による養護教諭対象調査 —  
本田優子 (熊本大学) ほか

(F群)

- \* 養護教諭の機能からみた触れることの意味  
中安紀美子 (徳島大学)
- \* 分離不安を呈した不登校児とその母親への支援  
白山 幸 (西栗倉村立西栗倉小学校)
- \* こころの成長へのアプローチ — 癒しと成長について —  
栗山千代美 (京都市立二条中学校)

16:40～17:30 第8回総会

- \* 参加費: 会員2,500円、非会員3,500円、学生1,500円、抄録集のみ1,000円  
(当日参加可)

## 学会事務局から

学会長 中桐佐智子 (吉備国際大学)

学会に参加される方にお知らせします。

学会の開かれる岡山国際交流センターは、岡山駅西口を出てから、3分ほど歩いたところにある7階建ての建物です。設備の整った会場を使って、有意義な学会になりますように実行委員が、いろいろ頑張っております。

次のことをご承知おき下さい。

1. 参加者の受付は、国際会議場ロビー (2階) 1カ所です。
2. 会場での呼び出しは原則として行いません。また、会場では携帯電話およびポケットベルのスイッチを切ってください。
3. 携帯品の一時預かりは、会場では致しません。岡山駅にはコインロッカーがありますから、必要な方はご利用下さい。
4. 昼食はお世話いたしません。ご自由に、近くのレストラン等をご利用下さい。
5. 宿泊のお世話はできませんが、同封のマップを参考に各自で予約して下さい。
6. 自家用車でのご来場につきましては、会場では駐車場を確保いたしておりませんので公共の交通機関をご利用下さい。但し道を隔てたところに大型駐車場がありますのでご利用下さい。
7. 発表される方の中で、配付資料を準備している方は、前もって事務局に200部印刷して届けて下さい。OHPを使う方もあらかじめお知らせ下さい。

### \*第7回学術集会事務局

〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町8

吉備国際大学保健科学部看護学科

TEL0866-22-9454 Fax0866-22-7560

## 第8回総会開催公示

日本養護教諭教育学会第8回総会を開きます

日時 1999年9月5日 (日) 16:40~17:30

場所 岡山国際交流センター 国際会議場

- 議題
1. 1999年度事業報告、決算報告
  2. 2000年度事業計画、予算案
  3. 研究助成対象の選考について
  4. 役員改選
  5. 第8回学術総会について
  6. その他

会員の皆様の積極的な参加を期待します。

理事長 堀内久美子

## 研究助成金申請者募集!

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

日本養護教諭教育学会では、会則第3条2に定める研究事業の一環として、特色ある研究に対して助成を行っています。2000年度の研究助成申請者の募集を下記の要領で行います。参考までに、1999年度は1件当たり5万円の助成でした。

応募に際しては、以下の規定を周知の上、下記の必要事項を記載した学会研究助成金申請書を学会事務局内、学会理事長宛に8月27日 (消印有効) までに送付して下さい。

[応募の方法]

申請書に下記の必要事項を記入し期限までに、学会事務局へ郵送すること。

[応募の資格]

応募は1999年度学会費を納入している本学会の会員に限る。

[研究期間]

研究期間は1年を原則とする。但し1年に限り延長する事ができる。なお、その場合は2年次にも改めて申請をし審査を受けるもの

とする。

[研究成果の報告]

研究助成金をうけた研究は原則として研究助成期間終了後1年以内に、その成果を学術集会及び会誌に発表しなければならない。

[研究の選定]

助成を行う研究の選定は、理事会において審議し、総会で承認を受けて決定する。

---

2000年度

「学会研究助成金申請書」への記載事項

1. 研究テーマ（新規、継続の別）
2. 研究者の氏名  
所属機関（所在地、Tel.Fax.番号）  
自宅住所、Tel.Fax番号
3. 研究計画と内容（具体的に）

なお、この申請書は原則としてワープロで作成し、A4サイズ用紙2枚以内とする。

---

日本養護教諭教育学会事務局

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1  
愛知教育大学養護教育教室 堀内研究室内  
Tel& Fax 0566-26-2491（ダイヤルイン）  
（研究担当理事 石原昌江）



ホットニュース

大学院入学資格に関する改善について  
－養護教諭関係を中心に－

文部省体育局学校健康教育課教科調査官  
三木 とみ子

このことについて、平成11年7月8日に大学院部会における審議の概要－大学院入学資格の改善について－が大学審議会にたいして部会から審議会への報告という形で示さ

れた。このうち、特に養護教諭に関連のある内容について以下紹介する。

1. これまでの経過

今回の報告は、大学審議会答申「21世紀の大学像と今後の改革方策について－競争的環境の中で個性が輝く大学－」（平成10年10月26日）が示され、この中で大学院についての諸制度の改革方策についての指摘に基づき改善が図られているが、社会の高度化、複雑化、技術革新の加速化、生涯学習志向の進展などを背景として学術研究の推進と研究者や高度な専門的知識、能力を有する人材の養成を担う大学院に対する社会の要請は多様化、高度化している。

この要請に適切に答えるため、大学院における入学者選抜についても今後の大学院のあり方をふまえた改善方策を検討する必要があることから大学院部会において検討されたものである。

2. 検討された内容

この審議の概要は主として以下の事項である。

- ①大学院の入学者選抜改善の基本方向
  - ・大学院の役割の増大
  - ・入学者の現状と課題
- ②今後の入学者選抜の基本的な在り方
- ③大学院入学者選抜の具体的改善方策
  - ・大学院入学資格の弾力化
  - ・大学院入学者選抜実施方法の在り方

3. 養護教諭に関する内容

養護教諭に関する事項は上記の②の中で以下のような指摘がなされている。

## 大学院入学者選抜の具体的な改善方策（抄）

### 1 大学院入学資格の弾力化

大学院については、上述したように、今後とも社会の多様な要請等に応じていくためには、入学の機会をできるだけ広く提供していくことが必要である。（略）

#### （1）制度的な接続の観点からの入学 資格の弾力化

（ア）教育免許法による養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22才に達した者への入学資格の付与等

(a)大学（短期大学を含む）に2年以上在学し、62単位以上修得した者等で、その後の実務経験と大学における所定の単位修得などにより教育職員免許法による小、中、高等学校、もしくは幼稚園の教諭の専修免許状、又は一種免許状を取得した者については、学士の学位を有する者で教諭の専修免許状、又は一種免許状を有する者と同等以上の学力があると認められるとの観点から、現行制度上すでに大学院入学資格が認められている。

(b)このことを踏まえると、大学（短期大学を含む）に2年以上在学し、62単位以上修得した者であって、その後の実務経験と大学における所定の単位修得等により、教育職員免許法による養護教諭の専修免許状、又は一種免許状を取得した者についても教諭についての場合と同様に学士の学位を有する者で養護教諭の専修免許状、又は一種免許状を取得した者についても、同様に、学士の学位を有する者で、養護教諭の専修免許状、又は一種免許状を有する者と同等以上の学力があると認められるとの観点から、大学院入学資格を認められることが適当である。

(c)また、専修学校、各種学校、国立養護教諭養成所の卒業生でその後の実務経験と大学における所定の単位修得等により教育職員免許法による小、中、高等学校もしくは幼稚園の教諭又は養護教諭の専修免許状又は一種免許状を取得した者についても上記(b)に述べたと同様の観点から大学院入学資格を認めることが適当である。

(d)なお、養護教諭の一種免許状については教育職員免許法における取り扱い上、最短では21才で取得可能であるが、現行の学校教育制度との整合性を図る観点から、22才に達した者であることを入学資格要件とすることが適当である。 以下、略

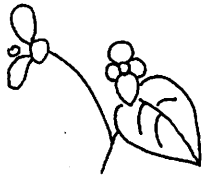
アンダーライン筆者加筆

#### 4. 今後の予定

- 7月・・・公表された審議の概要（報告）について関係者からの意見集約（養護教諭関係団体では全国養護教諭連絡協議会）
- 8月・・・大学審議会答申 制度改正への手続きを経て各大学に通知
- 今秋の大学院入学者の選考に間に合わせるようにする。

#### 5. その他

このことに関しては、以前から日本教育大学協会、及び、全国養護教諭連絡協議会より「大学院及び大学の専攻科の入学に関し、大学を卒業した者と同等以上学力があると認められる者の指定」（昭和28年文部省告示第5号）の十及び十一の改善について再三の要望がなされた。この告示第5号の中で、十については、先の教育職員養成審議会「養護教諭養成カリキュラムの在り方について（報告）」において「養護教諭」にも適応するように提言された。今回の改善は特に出身学校に関係なく、養護教諭の専修免許状又は一種免許状を取得した者について広く大学院の入学選抜の資格を広げたということと言える。今後は、この制度についての情報を大学関係者はもとより、多くの養護教諭に知ってもらい、大いに活用できるようになればよいと願っている。



(7月21日受稿)

学会誌第3巻 「原稿」 募集中

「日本養護教諭教育学会誌」第3巻第1号の

原稿を募集しています。

養護教諭の養成教育や現職教育に関する実践や調査などを研究論文にまとめて投稿してみませんか？ 会員が相互に研究成果を交換し合い、それをまた実践で検証し、研究としてまとめ交換し合う、といった積み重ねによって、より質の高い実践を追求していけたらと思っています。 積極的な投稿を期待しています。

1. 投稿資格：本学会の会員に限ります。共同研究者も会員に限ります。
2. 論文の種類：論壇、総説、原著、研究報告、実践報告、資料、その他です。
3. 募集期間：年間を通して受け付けていますが、第3巻第1号の原稿の最終締め切りは、1999年11月10日です。
4. 投稿方法：B5判横書きで3部を学会事務局に送付して下さい。原稿枚数や執筆要領等の詳しいことは、学会誌掲載の「投稿規定」をご覧ください。
5. 問い合わせ先：ご不明の点がありましたら学会事務局までご連絡下さい。

なお、これまで編集委員長として本学会誌の編集にあたられました中桐佐智子氏が、吉備国際大学の保健学部長に就任され、公務ご多忙とのことで編集委員長を辞任なさいました。そのため堀内理事長の指名（学会会則実施細則第10条の規定）により盛が残任期間を引き継ぐことになりました。「養護教諭教育の専門誌としてレベルの高いものに」と献身的にご尽力なさいました中桐前編集委員長の後を引き受けるのには心許ないのですが、編集委員や皆様のご協力により何とか勤めあげたいと思っています。よろしくお願い致します。

(編集委員長 盛 昭子)

## 学びや紹介

### — 南から —

「多様なニーズに応えられる  
養護教諭の育成を目指して」  
山本 暎子 (関西女子短期大学)

本学は大阪府南部の恵まれた自然環境の中にあり、特に春の入学期には通学路が見事な桜のトンネルになります。また、キャンパス内に、大阪府から重要文化財の指定を受けた柘植葛城(幕末の漢学者頼山陽の高弟)の私塾「立教館」が史跡保存されており、これも自慢の一つになっています。

1942年創立の学園には、幼稚園、高等学校短期大学、大学、それに医療技術専門学校があり、それぞれに特色ある教育をしています

短期大学は1965年に玉手山女子短期大学として開学され、翌1966年に関西女子短期大学と名称変更されて今日に至っております。見学の精神である「感恩」は教育実践の中で具体化され、根づいて、現在の本学の教育理念となっています。

本学には保育科と保健科があり、保育科は幼児教育、育児・福祉の2コース、保健科は我が養護・保健コースの他に歯科衛生士コース、医療秘書コース、食品・栄養科学コースに分かれ、どの科、コースの卒業生も専門職としての高い技量を誇っています。

保健科で養護教諭の養成を始めてから30年余りになりますが、その間に送り出した多くの卒業生が各地で活躍し、後輩達の精神的支えになっています。学生の気質も年々変わっていますが、多様なニーズに応え得る養護教諭となるためにも、本コースの伝統的気風である意欲的生活姿勢、行動力等は是非引き継いで欲しいものと思っています。

## 会員の声

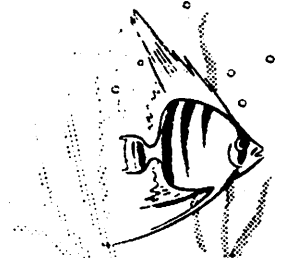
### — 執務のなかから —

わたしの保健だより  
古角 好美 (大阪市立城北小学校)

保健だよりを毎月出し続け、20年以上にわたった。今までは6月になれば「歯」、10月であれば「目」、冬季には「風邪予防」に関するものがほとんどで、健康な身体づくりのための情報伝達(啓発型保健だより)を主要内容にしていた。このような保健だよりは、保健室からの情報媒体として内容が毎年固定化(マンネリ化)されることもあって、ゴミ箱直行タイプの保健だよりになってしまいがちであった。保健だよりを読んでもらうために、いかに工夫するかが長年の課題であった。

そこで、保健だよりを一新し「コミュニケーション型保健だより」に変える発想の転換を図った。日頃の子どもの姿のあるがままの姿や、発信者である私の臭いがする、そして、今の子ども達に届くものをつくった。

この保健だよりでは、対象者が「そうか、なるほど」とわかるオリジナルな話題やワンポイント健康ニュースを届け、それを媒体にコミュニケーションしてもらうのがねらいである。情報が横に流れ、子ども・保護者・教職員が絡み合う、ふれあいの人間関係を目指したものであり、言い換えれば本校にかかわりのある人同士がわかるネタを互いに共有しコミュニケーションするのである。





## 理事会等の活動報告

理事会等の活動は次の通りです。  
(1999年5月以降)

### ☆理事会

#### 1. 1999年度第2回

日時:1999年8月1日(日)10:30~15:00  
場所:ワーピアつるまい(名古屋市)  
出席者:理事7名(堀内、石原、中桐、  
盛、大谷、楠本、下村、)  
内容:第7回学術集会準備、「養護教諭  
の複数配置に関する要望」の取り扱い、  
第8回総会議案編成ほか

### ☆編集委員会

#### 1. 1999年度第2回

日時:1999年8月1日(日)15:00~16:30  
場所:ワーピアつるまい(名古屋市)  
出席者:編集委員8名(堀内、石原、中桐、  
盛、大谷、楠本、下村、小西)  
内容:学会誌第3巻第1号の編集方針、  
編集委員会の体制、「ハーモニー」21号  
発行ほか

### ☆「養護教諭の複数配置に関する要望」検討 作業委員会

日時:1999年7月17日(土)10:30~16:30  
場所:名古屋市公会堂  
出席者:検討委員4名(堀内、大谷、  
中桐、下村)  
内容:「養護教諭の複数配置に関する要  
望」の取り扱い、第8回総会への  
提案内容の審議ほか



### 日本養護教諭教育学会「複数配置 「養護教諭の複数配置に関する要望」 の取り扱いについて」

**結論: 要望書は出さない。**

理由は次の通り

この件については、あくまでも学会  
としての立場で発言していくべきであ  
る。学会としては、研究成果にもとづ  
いて、養護教諭の力量向上に結びつけ  
た提言をすることが望ましい。しかし  
現段階では、学会としての研究成果が  
明確な形では出ていない。

### 事務局から



☆会員名簿の追加をお願いします  
新入会員(1999年7月13日現在)

### 会員番号

- 306 森慶恵(愛教大大学院、西中島小学  
校)  
〒453-0842 名古屋市中区区劔町148  
Tel. 052-412-7288
- 307 清水多衣子(静岡県立静岡東高等学校)  
〒420-0923 静岡市川合757  
Tel. 052261-6636
- 308 井上志のぶ(志免町立志免南小学校)  
〒811-2208 福岡県粕屋郡志免町吉原  
556  
Tel. 092-936-1900
- 309 杉浦百合子(愛知県立岡崎東高等学校)

- 〒444-3524 岡崎市竜泉寺町後山27  
Tel. 0564-52-8911
- 310 本田優子 (熊本大学教育学部)  
〒860-8555 熊本市黒髪5-17-1  
Tel. 096-342-2944
- 311 野村真理 (京北学園中高等学校)  
〒112-8607 東京都文京区白山5-28-25  
Tel. 03-3941-3157
- 312 津村直子 (北海道教育大学札幌校)  
〒002-8502 札幌市北区あいの里5条  
3-1  
Tel. 011-778-0406
- 313 西沢義子 (弘前大学教育学部)  
〒036-8560 弘前市文京町1  
Tel. 0172-39-3465
- 314 小出彌生 (岡山大学教育学部)  
〒700-8530 岡山市津島中3-1-1  
Tel. 086-252-1111
- 315 大島久美子 (静岡県立小笠高等学校)  
〒439-0012 小笠群菊川町青葉台  
3-1-3  
Tel. 0537-35-3032
- 316 栗山千代美 (京都市立二条中学校)  
〒602-0067 京都市上京区竹屋町通り  
千本東入主税町911  
Tel. 075-821-1196
- 317 村瀬みほし (大和高田市立高田小学校)  
〒634-0821 榎原市西池尻町  
353-1-202  
Tel. 0744-27-2741
- 318 湧川美幸 (安城学園高等学校)  
〒445-0077 西尾市新渡場町万日  
32-4  
Tel. 0563-54-4995
- 319 杉浦菊代 (岡崎市立六ツ美中学校)  
〒446-0072 安城市住吉町3-2-39  
LM605  
Tel. 0566-98-5812
- 320 柴田和子 (岡崎市立甲山中学校)  
〒444-0015 岡崎市北野東20-1  
Tel. 0564-22-2664
- 321 稲垣翰子 (三重県立津工業高等学校)  
〒514-0823 津市大字半田534  
Tel. 059-226-1285

会員数は265名です。(1999年7月13日現在)  
☆所属・連絡先等に変更のある方は、早めに  
事務局まで書面にてご連絡下さい。



\*\*\*\*\*編集後記\*\*\*\*\*

夏空の広がる太陽の季節、会員の皆様には  
いかがお過ごしでしょうか。

第7回学術集会の会場となる岡山では今、  
実行委員長をはじめ実行委員の方々が手に汗  
をしながら着々と準備を進めて下さっています。  
9月は残暑がきびしいだろうからと最新  
設備の会場も用意して下さいました。

このハーモニー21号は、学術集会直前号と  
して実行委員会で作っていただいた開催案内  
もはさみ込みました。年を重ねるごとに発表  
者も増えていますが、なんと、今年度は研究  
発表の一般演題が12題あり楽しみです。

ご多忙中、本号にご寄稿下さいました方々  
に感謝致します。(小西)